

番号	14
カテゴリー	プロモーション
キーワード	ビーコン、スマートフォン、アプリケーション
サービス名	ビーコンを活用した、滞在を延長させるアプリ「まるまる島原半島」
運営・構築	株式会社スマートエンジニアリング／一般社団法人 島原半島観光連盟
URL	<a href="http://www.shimakanren.com/">http://www.shimakanren.com/</a>
<p>&lt;特色&gt;</p> <p>島原半島内の観光名所の78箇所(118機)にビーコンと呼ばれる無線型装置を設置。旅行者らが約15m以内に近づくとその施設や名所の概要や情報が自動的に受信できる。日本語のほか英語、中国語など5つの言語に対応済み。</p> <p>観光事業者はクーポンやお得な情報など随時発信し更新することができる。(なおビーコンを設置しなくてもアプリへ情報発信は可能)。</p> <p>予め登録された観光情報は、ビーコンに近づかなくても事前に関覧でき、おすすめコースや周遊コースを確認しながら計画を立てることも可能。</p> <p>観光以外では、公共交通機関の運行状況や交通情報、災害などの緊急情報(自動連携可)、なども自動受信が可能で旅行者へ安心安全を配慮している。また、運営側にも特徴があり、このシステムを2年後には民間化する計画で進めている。</p>	
<p>&lt;背景&gt;</p> <p>島原半島の宿泊数が、25年前に比べて約半数まで落ち込んでいる。大きな要因は、25年前の雲仙普賢岳噴火災害によるものとバブル時代の社員旅行など団体ツアー減少によるものなど幾つかの要因が重なった。そのため島原半島を「通過点」として利用する旅行者が増えてしまった。(半島流入は600~700万/年と伸び代はある！)</p> <p>1分でも10分でも30分でも滞在時間を増やし、一人100円でも良いのでお金を落とす仕掛けに注力。(全員が100円落とした場合、6~7億円増) 県の島原半島観光連盟、3市の雲仙市・島原市・南島原市、各団体毎の観光協会、民間も交えながら幾度か情報交換や協議検討を重ね、実証実験後*1、一般公募「観光情報システム:スマホアプリを活用した自動情報提供システム」の選定があり、審査の結果「ビーコンを活用した、滞在を延長させるアプリ」が採択された。*1:社会実証実験では、スマホ貸出とセンサー設置を行い、平均30分の滞在時間延長と、そのことで土産品店に立ち寄る客が増える事は分かっていた。</p>	
<p>&lt;内容・事例&gt;</p> <p>1. アプリ編</p> <p>初回起動→属性情報入力(任意)→メイン画面→(2回目以降→動画再生→メイン画面→)</p> <p>タブをフリック(横へスライド)で切替(定番、周遊コース、イベント、楽しむ、食べる、買う、泊まる、クーポン、交通情報、お知らせ、アンケート、スタンプラリー)</p>	



2. 管理画面

ユーザ管理、基本情報、投稿記事、クーポン、周遊コース、スタンプラリー、(PUSH)通知、Beacon、スポットコンテンツ、交通情報、動画、フィード、自動連携メール、アンケート、ヒートマップ分析

<実績>

2016年9月下旬より、ポスターやチラシ配布等で本格PRを開始し、2017年3月末時点で約4,000ダウンロードとなっている。また、興味深い事に中国・東南アジア圏からも数百ダウンロードされ外国人の周游客も見られる。

<導入の効果>

新たな周遊システムの構築に必要な人員およびシステム管理に必要な人員の削減。

<今後の方向性>

国内SNSと海外SNSをウオッチし、アプリ等を通じてどのようにシェア拡散されたか。およびヒートマップ分析等を利用し、旅行者の行動分析(移動経路等)の実施。2つの分析を元に、次の集客へ繋げる施策を検討する。

<問い合わせ先>

担当者	株式会社スマートエンジニアリング 新 政行
郵便番号	893-0005
住所	鹿児島県鹿屋市共栄町18-30
電話番号	
e-mail	soumu@smart-engineering.jp

